

平成21年度第4回しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成22年2月18日(木)
13時40分～15時30分
場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」

1 開 会

2 あいさつ

しなの鉄道活性化協議会

3 会議成立の報告（事務局）

委員26名中18名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。（協議会規約第6条第2項）

4 協議事項（議長：会長 協議会規約第5条第2項、第6条第1項）

（1）しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

事務局から（資料1）を説明

（質問・意見等なし）

原案のとおり可決。

（2）アンケート調査の実施結果について

（3）企業ヒアリング調査の実施結果について

（財）運輸政策研究機構から（資料2：資料編）を一括説明

（質問・意見等なし）

説明のとおり了承。

（4）しなの鉄道総合連携計画(案)について

事務局から（資料2 資料4）を説明

（質疑・意見等）

ア 連携計画53ページの軽井沢～小諸間の増便についてですが、今から7、8年前に小諸市議会で「展望列車」をこの間に走らせたかどうかという提案があり、御代田、軽井沢、小諸の議員同士で検討会をしようとの話があったが、このことは皆さんに通じていたのかどうかお伺いしたい。

<議長>

展望列車については、ここ1、2年実現化に向けて検討した経緯がありま

す。

現在も利用者の利便性や観光客の方々のことを含めて検討中ということでご理解いただきたい。

(補足説明)

この会議でも、「しなの鉄道の列車の色について何とかならないのか」とのご意見も頂いております。また、ただ軽井沢～小諸間の増便をただけでは増えるお客さんの数にも限りがあると思いますので、増便に合わせて「展望」と言えるか分かりませんが観光目的の少し工夫をした列車を走らせたいと考えています。〈事務局〉

- イ 軽井沢には年間800万人もの観光客が訪れており、この観光客を小諸市へ誘導しようではないかとサイクリングロードなどを検討した経緯もある。是非、活性化のために実行に移していただければありがたい。

〈議長〉

ごもっともなご意見だと思います。800万人もの観光客を小諸を含め何とか上田方面に誘導できないかということは大きなテーマでありますのでこれからも議論してまいりたいと思います。

- ウ 資料4のパブリックコメントについて、計画の中にどのように反映させたのか。反映させたものがあれば示していただくと分かりやすいと思います。単なる意見の一覧ではなく、せっかくいただいたご意見ですので「すでに計画の中に織り込み済みである」とか「参考にさせていただきたい」、「困難である」などと分かりやすく表記していただいた方がよいのではないかと感じています。

→ 分かりました。パブリックコメントの内容につきましては、ホームページ上で公開しようと思っています。ご指摘のありました点を踏まえ、整理したうえで示していきたいと考えています。〈事務局〉

- エ 2点についてお願いしたい。

1点目は最終新幹線との接続問題ですが、原点に戻りますとJR側が若干ダイヤを遅らせたために接続が不可能になったということですよ。今までお聞きしている限りでは、これに対応するにはしなの鉄道に経費面で非常に負担がかかるということです。しなの鉄道のダイヤだけを下げることではなく、しなの鉄道も対応できるようJR側にダイヤの検討をいただくということも含めて対応していただきたい。この計画ですと「検討」ということですが、私どもは「検討」は「しない」と捉えてしまう。乗合

いタクシーとの接続ということも出されていますが、現実的には非常に難しいと思います。パブリックコメントや企業からの声をみても（接続の）要望が多く、上田駅だけではなく軽井沢駅での接続もあるわけですので、この問題についてはもう少し力を入れていただきたいと思います。

2点目ですが、

最近、しなの鉄道でも気象条件の悪化等でダイヤが乱れることがあったわけですが、新幹線との接続でしなの鉄道が遅れた場合に新幹線は待っていてくれるのでしょうか。心臓にペースメーカーを入れた方が屋代駅でしなの鉄道に乗り換え上田駅で新幹線に乗り換えた一例ですが、屋代駅では列車の遅れのアナウンスはあったものの、列車内でのアナウンスはなく、上田駅で死に物狂いで新幹線乗り場に行ったところ、新幹線が待っていてくれたことがあったようです。列車内で新幹線側の情報が伝えられていれば、病人やお年寄りなども普通に歩いて乗り換えができたわけです。情報の高度化についても計画されていますが、特に列車内での情報発信は基本だと思っていますので、是非この点を強化していただきたい。

<議 長>

最初のご質問に関してですが、

しなの鉄道のダイヤ編成に当たっては、JRとりわけ新幹線の運行を第一に考え、在来線の特急、接続する他の私鉄との連携などという順に関係者と情報交換をしながら対応してきております。

ご指摘の最終新幹線との接続につきましては、一昨年のダイヤ改正の頃からご質問や苦情等をいただいております。最終新幹線と接続をとりますと、最終列車と始発列車との間に行う夜間作業に支障が出かねないことなどなかなか難しい状況にありますのでご理解をいただきたいと思います。

2点目の車内アナウンスの件ですが、

先般も着氷による遅れや安茂里駅での列車故障による遅れなどがありました。基本的には事象が発生した都度こまめに車掌がアナウンスするよう指導しておりますが、なお至らぬ点があれば十二分に留意してまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

オ 山ノ内温泉郷に行くのに、しなの鉄道が屋代駅から河東線（長野電鉄屋代線）に乗り入れて行くとか、別所線の上田駅は2階から出ているので難しいとは思いますが、長野方面から来る人が乗り換えなしで別所温泉に行けるようなことが実現できればいいなと感じています。

<議 長>

かつて上野発で屋代から山ノ内への直通列車が走っていましたが、しなの

鉄道発足後、あそこの線が断線され繋がっていない状況にあります。

なお、観光地を結ぶという意味合いで、有機的な連携をもつということであれば、将来的な課題としてそういったことも検討していかなければならないと思います。

小諸においても同様で、かつて長野発～長野着という列車が走っていましたが、あのようなことも、今後、長野県の観光という面からみたとときには検討していかなければならないのかなと思います。いずれにしても将来的な課題として受け止めさせていただきます。

(補足説明)

委員さんがおっしゃるような直通運転をするかどうかは別として、軽井沢に800万人の方が訪れており、これはしなの鉄道沿線のみならず長野県や東北信地域全体にとって貴重なお客さんだと思います。

現在、しなの鉄道でも軽井沢・小布施フリー切符を発売しており、かなりの売上があります。屋代線沿線やあるいは長野電鉄全体へのニーズもある程度あるのだと思います。特に、今年は松代イヤーということで取り組まれると聞いております。今回、しなの鉄道の電車の中の広告チラシを掲載料だけで掲載できるように計画しており、その中で松代に関するものについても春・夏・秋・冬の四つのパターン毎に掲載することとしております。

<事務局>

<議長>

他にご意見ありませんか。

(他に意見なし)

よろしければ、この計画(案)を本日お認めいただくことでよろしいでしょうか。

(意義なし)

それでは、(案)をとっていただき本計画を決定いたしたいと思います。

(しなの鉄道総合連携計画 決定)

(5) 平成22年度予定の主な事業の概要(案)について

事務局から(資料5)を説明

(質疑・意見等)

ア 連携計画全体は5カ年とお聞きしておりますが、国の補助は平成22年度から24年度までの3カ年であり、ただ今の説明も補助対象の3カ年を中心にされましたが、資料4の5ページ(22年度)から7ページ(24年度)の各年度毎の事業費を合計すると1億6,000万円になり、4ペー

ジの補助対象の3ヶ間全体の事業費1億6,320万円との間に320万円の差がある。この差額の320万円は、25、26年度の沿線イベント情報の発信に要する事業費（各160万円）がプラスされているためと思われるがどうでしょうか。

→ 分かりました。整理し出し直しいたします。 <事務局>

<議長>

ただ今の件は、整理し対処いたしますのでよろしく願いいたします。他にありませんか。なければ、本案よろしいですか。

（異議なし）

それでは決定をさせていただきます。

（事業計画 決定）

（6）今後のスケジュールについて

事務局から（資料6）を説明

（質疑・意見等なし）

（スケジュール 了承）

（7）その他

・しなの鉄道 電車利用促進キャンペーンについて

事務局から（配布チラシ）により報告

5 閉 会

以 上